

重症心身障害児者の支援の実際

～地域社会における共生の実現に向けて～

人工呼吸器や在宅酸素療法等、何らかの医療機器を使用し、自宅から外出することも困難な状況の子供と家族が地域で暮らす時代。障害属性（肢体不自由・知的障害）や医療的ケアが様々な個別性の高い重症心身障害児者の支援は、医療・保健・福祉・教育の連携が必須であり、2022年9月に「医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）」が施行となった。本講義では2016年に神戸市重度障害児者医療福祉コーディネート事業を立ち上げて神戸市の重症児者の医療のみならず日常生活や社会生活の総合的な支援を担ってきたノウハウを紹介する。

日時

2024年7月9日（火）14:40～16:10

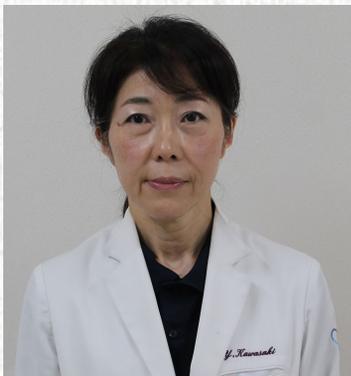
場所

関西大学 堺キャンパスB棟3階SB301教室

講師

河崎 洋子 関西大学客員教授

（医師 にこにこハウス医療福祉センター施設長）



プロフィール

1994年神戸大学医学部卒業、神戸大学小児科入局
神戸大学附属病院小児科、姫路赤十字病院小児科、加古川
市民病院小児科、川崎病院小児科を経て2005年よりにこ
こハウス医療福祉センター（2022年より神戸医療福祉セン
ターにこにこハウスに改称）で重症心身障害児者の医療・福
祉に携わる。2011年より同センター診療部長、2013年より
同センター施設長に就任。また、2024年4月に神戸医療福
祉センターひだまり院長に就任。

